

**第7回（2007年度）佐治敬三賞は**  
**「フランス現代音楽からの潮流**  
**～井上麻子×<sup>ふじいよしき</sup>藤井快哉DUO」に決定**

財団法人 サントリー音楽財団（理事長・堤剛）は、わが国で実施された音楽を主体とする公演の中から、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ公演成果の水準の高いすぐれた公演に贈る「佐治敬三賞」の第7回（2007年度）受賞公演を「フランス現代音楽からの潮流～井上麻子×<sup>ふじいよしき</sup>藤井快哉DUO」に決定しました。

●選考経過

1. 応募のあった2007年実施公演について2008年1月12日（土）東京・丸の内の東京會館において、選考委員9名により第一次選考を行った。
2. 引き続き3月1日（土）東京・丸の内の東京會館において最終選考会を開催、慎重な審議の結果、第7回（2007年度）佐治敬三賞に「フランス現代音楽からの潮流～井上麻子×<sup>ふじいよしき</sup>藤井快哉DUO」が選定され、3月4日（火）理事会において正式に決定された。

●賞金は200万円。

●選考委員は下記の9氏。

礒山 雅・伊東信宏・岡田暁生・岡部真一郎・白石美雪  
檜崎洋子・沼野雄司・船山 隆・三宅幸夫

（敬称略・50音順）

## <贈賞理由>

井上麻子（サクソフォーン）／藤井快哉（ピアノ）によるデュオは、その演奏レベルの高さ、プログラムの方向性の明確さもさることながら、「これからの現代音楽が演奏される場のありよう」ということを考える上で、非常に示唆に富んだ演奏会であった。プログラムは主としてフランスで活躍する作曲家が、今どのようなサクソフォーンの曲を、どのようなコンセプトで書いているかを、日本の聴衆に紹介するという趣旨。井上氏の演奏は、例えば冒頭のデザンクロ作品における、曲を一瞬たりとも退屈させずにまとめあげる骨太な構築力、あるいは二曲目の棚田作品における、五つくらいの違う楽器の合奏かと思ふような色彩変化など、とにかく聴き手を飽きさせない。しかも技術だけが浮いて聴こえるのではなく、作品への共感が常にこもった手作りの暖かさがいい。藤井氏のピアノは、こうした現代曲で要求されるシャープな音の立ち上がり、難リズムを軽々処理する確実さ、あるいは微妙なペダル操作による音色変化の鮮やかさなど、非の打ち所がない。しかも、サクソフォーンの井上氏と同じく、切れ味をこれみよがしに見せつけるのではなく、常に（広い意味での）歌心がある。アンサンブルの丁寧な練り上げについてもいうことなし。

演奏に劣らず素晴らしかったのが、演奏者たちによる楽曲解説である。決して難渋な思弁に陥らず、こうした現代曲を理解する上でのポイントを、演奏者ならではの視点から、実例も交えつつ、極めて的確かつ平明に説明してくれた。こうした極めてハイレベルな演奏会が、気楽にふらっと立ち寄って楽しめるような雰囲気の中で実現されたことは特筆に値することであった。

以上の理由により、「フランス現代音楽からの潮流～井上麻子×藤井快哉DUO」に第7回佐治敬三賞を贈賞する。

<公演概要>

名称：「フランス現代音楽からの潮流～井上麻子×<sup>ふじいよしき</sup>藤井快哉DUO」

日時：2007年11月17日（土）

会場：兵庫県立尼崎青少年創造劇場ピッコロシアター

曲目：A. デザンクロ：プレリュード、カデンツァとフィナーレ

    棚田文則：ミステリアスモーニングⅢ

    野平一郎：アラベスクⅡ、アラベスクⅢ

    B. マントヴァニ：霧雨の白熱

    E. デニゾフ：ソナタ

出演：井上麻子（A. Sax）、藤井快哉（Pf）

主催：井上麻子 兵庫県立尼崎青少年創造劇場ピッコロシアター

以 上

<ご参考>

### 佐治敬三賞について

(財)サントリー音楽財団(理事長・堤剛)は、故・佐治敬三(元サントリー株式会社社長、元サントリー音楽財団理事長)の功績を記念して、2001年度(平成13年度)から「佐治敬三賞」を創設しました。

この「佐治敬三賞」は佐治の音楽への深い愛情と理解およびチャレンジ精神、パイオニア精神を承継し、新しい世紀のわが国における音楽公演活動の一層の振興を願って、氏の名を冠した新しい賞として制定されました。

この賞は、毎年わが国で実施された音楽を主体とする公演の中から、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ公演成果の水準の高いすぐれた公演に贈られるもので、応募のあったものの中から選定されます。賞金は200万円。

故・佐治敬三は、早くから文化事業への支援に力を入れ、特に音楽界においては鳥井音楽財団(現サントリー音楽財団)を設立、サントリー音楽賞をはじめとするわが国の洋楽の振興を目的とした諸事業のほか、東京初のコンサート専用ホール「サントリーホール」の建設・運営などを行ってきました。

1999年11月3日に急逝した佐治の遺族から“音楽界のために役立ててほしい”として遺産の一部が寄付されたことから、財団で検討した結果、「佐治敬三賞」の創設にいたりました。

### — 記 —

1. 名 称 「佐治敬三賞」
2. 選考対象 毎年1月1日から12月31日の間に国内で実施された日本人を主体とする音楽公演で応募のあったものが対象になります。清新、独自、冒険の意欲、あるいは若々しさに満ちた企画であり、かつ公演成果の水準の高いすぐれたものを選定します。
3. 選考方法 応募のあった公演について審査を行い、翌年3月の佐治敬三賞最終選考会で受賞公演を選定、発表します。

4. 選考委員 選考はサントリー音楽賞選考委員により行われます。  
\* 第7回（2007年度）佐治敬三賞の選考委員は、  
磯山雅、伊東信宏、岡田暁生、岡部真一郎、白石美雪、  
植崎洋子、沼野雄司、船山隆、三宅幸夫の各氏です。  
（50音順、敬称略）
5. 賞 賞状、賞金200万円
6. お問い合わせ先 サントリー音楽財団  
〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-3 赤坂見附 MTビル  
電 話 (03) 3479-1594  
F A X (03) 3479-2101  
<http://www.suntory.co.jp/culture/smf/>

#### これまでの受賞公演

##### 第1回（2001年度）

「篠崎史子 ハープの個展 VIII ～新たな領域を求めて～」

2001年10月19日 東京文化会館 小ホール

「Just Composed 2001 in Yokohama ～現代作曲家シリーズ

～大野和士が描く新世紀の音楽絵巻」

2001年8月31日 横浜みなとみらいホール

##### 第2回（2002年度）

「アンサンブル・ノマド2002年度定期演奏会#1」

2002年9月17日 東京オペラシティ・リサイタルホール

##### 第3回（2003年度）

「現代の音楽展2003 室内オーケストラの領域 III」

2003年3月17日 東京文化会館小ホール

##### 第4回（2004年度）

「三井の晩鐘」

2004年10月24日 イシハラホール

##### 第5回（2005年度）

「next mushroom promotion vol. 8 『細川俊夫～50年のランドスケープ』」

2005年10月15日 ムラマツリサイタルホール新大阪

第6回（2006年度）

「武生国際音楽祭2006」

第8回（2008年度）「佐治敬三賞」応募について

2008年1～6月実施公演の応募受付は終了しました。

2008年7～12月実施公演の応募方法は以下のとおりです。

- ・対象公演 2008年（平成20年）7月1日から12月31日の間に国内で実施される音楽を主体とする公演。
- ・応募方法 所定の応募用紙にて応募いただきます。公演の記録映像、録音、印刷物などがある場合は資料として提出いただく場合があります。応募要項・用紙は、住所・氏名・電話番号を明記の上、郵送またはFAXにてサントリー音楽財団までご請求下さい。また財団ホームページからもダウンロードできます。
- ・応募期間 2008年4月1日から5月31日

以 上